

平成17年
(2005)



喜界きかい

5

発行/鹿児島県喜界町役場 ㊟891-6292 電話0997-65-1111 編集/企画課 印刷/南日本新聞開発センター

No. 455



スギラビーチ

今月の紙面

- 2～3面 喜界自然保護植物の17種
- 4面 原料サトウキビの搬入終了
- 5面 AEDの使い方学ぶ/体育指導員14人に辞令交付/長年の功績に感謝状
- 6面 新任教職員受入式/上嘉鉄駐在所落成/床下にモクマオウ木炭/リモコンヘリ導入を検討
- 7～8面 平成17年度施政方針項目別主要施策抜粋
- 9～11面 まちの話題/保健師だより
- 12～13面 お知らせ/国民年金だより/海の贈り物
- 14面 教育委員会のとびら
- 15面 わが家のアイドル/喜界歌壇/戸籍の窓ほか
- 16面 スナップ集

海辺の 夕暮れ

喜界町自然保護植物の17種

採掘・採取は禁止されています

～ テンノウメは懲役または罰金 ～

テンノウメを採掘・採取すると県条例により、一年以下の懲役または五十万円以下の罰金が科せられます。



アダン



リュウゼツラン



テンノウメ (天梅)



ソテツ



シャリンバイ



ガジュマル



シマサルスベリ



クサトペラ



ハリツルマサキ (マッコウ)



オオハマボウ (ユナギ)



サンゴジュ



国定公園区域内で開発行為を行う場合、事前に自然公園法に基づく許可または届出が必要で

第一種・第三種特別地域で「許可」を受けなければならない行為（一部抜粋）

工作物の新築・改築・増築
竹木の伐採

鉱物の掘採・土石の採取

広告物の掲出

水面の埋立て・干拓

土地の形状変更（開墾等）

指定植物の採取、損傷（採取を制限される指定種）

オシマウツギ・テンノウ

メ・ミズガンピ・イソマ

ツ・モンパノキ・オキナワ

スズムシソウ・モクビヤッコウ

・テッポウユリ（喜界島関係）

鉄塔等の色彩の変更

屋外での土石、廃棄物等の

集積、貯蔵

無許可で右の行為を行った

場合は、罰せられることがあ

りますので、注意してください。

については、

普通地域でも「届出」が必要

です。詳しくは左記へ。

問い合わせ先

大島支庁商工水産課

0997(53)7285



ハマヒサカキ



ユリ



モンパノキ



ミズガンピ



モクビヤッコウ



イソマツ

原料サトウキビの搬入終了 収量、糖度ともに過去最低 ～前期12.1%減の6万3,492ト～

新品種の導入など対策検討

生和糖業(西一臣工場長)は四月十八日、今期の原料サトウキビの搬入を終了した。昨年の相次ぐ台風の影響で今期の集荷量は会社合併以来、最少の六万三千四百九十二ト、平均甘しゅ糖度も二・一〇度にとどまった。ここ三年間は、大型台風などの影響により収穫量が大幅に減少している。西工場長は「農林17号や側枝苗を導入し、収量の安定を図りたい」と、台風常襲地帯にあった品種の導入を示唆した。



昨年は相次いで台風の直撃を受けた。八月下旬に台風16号、一週間後に台風18号、そして十月中旬に台風23号と大型台風が喜界島を直撃。サトウキビは、倒伏や折損、塩害を受けた。十一月には穂が出

始め体内養分を消化、根腐れするキビも多かったという。搬入開始後の糖度は、標準糖度帯にも届かない日が続いた。三月に入ってから糖度が上がり始めたが、今期の収量、平均甘しゅ糖度はともに会社合併以来、過去最低となった。収穫面積は二十十年ほぼ横ばいの千百ヘクタ。夏植(五二・四%)、春植(九・〇%)、株出(三八・六%)の比率もほぼ変わらない。キビ農家戸数も七百八十戸前後と大きな変動はない。

しかし、十ヶ当たりりの収量にやや落ち込みが見られる。西工場長は「ハーベスタの増加により、畑に還元すべき八カマや土がトラッシュとして工場に運び込まれ、それが原

因で地力が落ちてきている」と、七ヶにもおよぶトラッシュに言及、「いかにトラッシュを減らし、地力を保つかが課題」と話す。また、「ハーベスタの導入により、畝幅が広がりキビの茎数が減っていることも、全体的に見ると影響がある」と分析する。

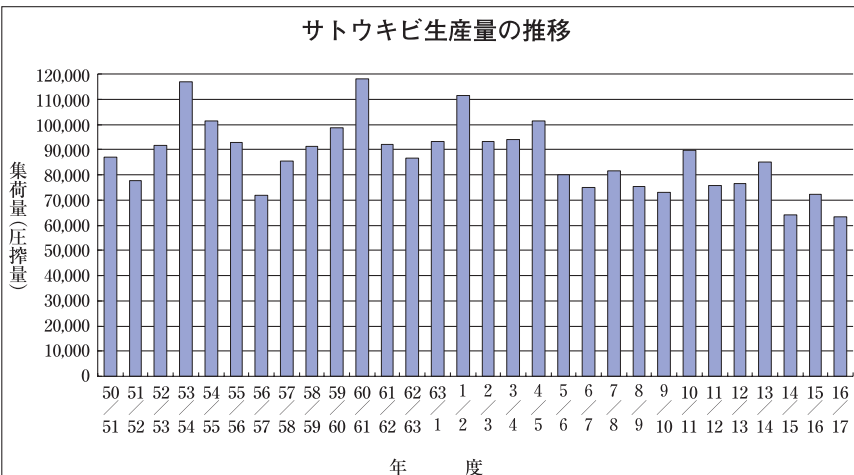
品種は農林8号が中心で全体の八七・六%を占める。これについては「今後は一部の品種に偏ることは避けたい。農林8号に比べて風に強く、株出し後の萌芽(ほづが)性に優れている農林17号を導入し、品種のバランスを図りたい。また、株出し後の補植に、キビ節の芽を活用した側枝苗を利用したい」としている。農林17号は、水分が多い畑では萌芽率が高く、生長も早いため、スプリングラーが設置されている畑では農林17号の植え付けを呼び掛ける。

また、「これまで防風林を無視してきたのではない。島ミカンも防風林の減少でかなりやられている。防風対策は必要」と、小野津地区の一部で見られるシャリンバイの防風林にも触れた。

ここ三年間、生和糖業、農家にとつて厳しい年が続いている。今後は、新しい品種の導入や側枝苗の活用、計画的な防風林の設置が不可欠だ。「台風は毎年来るもの。台風

に強いキビ作りを農家、会社、農協、行政一体となり取り組みたい」。西工場長の言葉に決意がうかがえた。

サトウキビ生産量の推移



AEDの使い方学ば

消防・医療・福祉関係の31人

心臓が停止してしまった人に電気ショックを与えて回復を図る「自動体外式除細動器（以下「AED」）」の講習会が四月二十一・二十二の両日、大島地区消防界分署であり、消防署員や医療・福祉関係者三十一人が機器の扱い方、患者への対処法について学んだ。

講師の日高帯刀医師（県立大島病院）によると、「日本人の突然死は年間約八万人いると推定される。そのうち半分が心臓病による突然死。毎日

百人以上が亡くなっていることとなる。早期除振動が成功率（救命率）向上の重要な力ギとなる」という。

AEDとは、心臓発作などで心停止した人に電気ショックを与えて心臓のリズムを回復させるノートパソコンほどの小型の装置。患者の右胸と左脇腹に電極パッドを取り付け、電気ショックを与える。

平成十六年七月に非医療従事者によるAEDの使用が認められ、これにより今後、医師がいなくても傷病者に対する除細動が可能となり、早期除細動による救命率の向上が期待される。

参加者は真剣な表情で講義、AED実技講習を受けた。特に実技では、三人一組となり、「電源の入れ方」「パッドの装着方法」「使用方法の注意点」など、一つひとつの動作を声に出しながら、何度も確認していた。AEDを有効に使



うには、できるだけ迅速に対処することが求められる。心臓発作の患者は発作から一分を経過することに救命率は一割低下する。AEDを用意するまでの間、心臓マッサージなど基本的な救急救命知識も必要。

最近、航空機内や公共施設にAEDを積極的に設置する動きが見られるが、鹿児島県では配備が遅れがあり、講習会の実施も少ない。これからというのが現状だ。診療所と消防分署は、AEDを近々配備する。



平成十七年度第一回体育指導委員会が四月二十二日、役

体育指導委員14人に辞令交付

場会議室であり、十四人の体育指導委員に、晴永清道教育長から辞令が交付された。

体育指導委員は社会的信頼があり、スポーツに関する深い関心と理解、熱意、能力を持つ者から選出され、スポーツ振興や実技の指導・助言を行う。各体協区から一人ずつの十一人と、各中学校区から一人ずつの三人、計十四人からなり、各中学校区の三人はいずれも女性。また、湾A、早町、志戸桶校区は新任され

た。平成十七年四月一日から二年間の任期。

指導委員は次のとおり。

湾A校区〓古沼寛之・新湾B校区〓岡本正一 湾C校区〓福島悟 荒木校区〓植村俊幸 上嘉鉄校区〓西原清仁 阿伝校区〓武田秀伸 早町校区〓萩原昭浩・新志戸桶校区〓濱川秀司・新小野津校区〓岡晃久 坂嶺校区〓積山忠久 滝川校区〓東正人 一中校区〓黒田和代 二中校区〓西岡恵理 早中校区〓櫻井令子

長年の功績に感謝状

岩田 忍さん 喜原正子さん

任期を終えた行政相談委員の岩田忍さん（湾）と人権擁護委員の喜原正子さん（湾）に、麻生太郎総務大臣、南野知恵子法務大臣からそれぞれ感謝状が贈られ、加藤啓雄町長から伝達された。

岩田さんは平成六年から十



岩田 忍さん



喜原正子さん

一年間、喜原さんは平成十四年から三年間、職務に従事。町民の悩みの解消や福祉の向上、人権意識の啓発に尽力した。行政相談委員の後任には園田直樹さん（赤連）、人権擁護委員には開茶子さん（坂嶺）が就いた。

44人が新たなスタートノ

新任教職員
受入式

小学校・中学校・高等学校
合同転入・新任教職員受入式
が四月八日、自然休養村管理
センターで行われ、四十四人
の教職員が歓迎を受け、喜界
島での新たな教員生活のスタ
ートをきつた。晴永清道教育
長は「勤勉さと熱意があれば
不可能はない。心をむすび合
わせ、この島でしかできない
教育を」とあいさつ。加藤啓
雄町長は「人生の節目におい
て、必ず古里と学校と先生の
顔が浮かぶ。教職員は素晴ら
しい仕事。がんばってほしい」と
歓迎した。



「朝花節」「喜界やよい島」で
歓迎。出席者は奄美の島唄、
三味線の音色に合わせ手拍子
を添えていた。また、島のピ
デオを観賞して島の行事や歴
史について理解を深めた。
式終了後、懇談会が行われ、
教育委員会の職員が自慢の腕
を振るつた山羊料理に舌鼓を
うった。なかにはヤギ汁をお
かわりをする教職員もいて、
島ならではの歓迎に笑顔を見
せていた。

また、登山典壽上嘉鉄小学
校校長は「教師は人間性と忍
耐力と心を込めて話すことが
大事。燃えるような情熱を子

どもたちに注いでほしい」と
語った。それに対し、第一中
学校に赴任した金久義人校長
が「子どもたちを独り立ちさ
せるべく基礎学力の向上に努
め、奄美に誇れる学校になる
よう、誠心誠意取り組みたい」と
抱負を述べた。
式では五人の小中学生が



リモコンヘリ導入を検討

アリモドキゾウムシ根絶事業

剤散布を新年度から始める。
従来の方法とどちらが効果が
あるかを調査し、効率が良く

床下に モクマオウ木炭

平成十五年から本格的に生
産を始めたモクマオウ炭。こ
れまでほとんどが夏場のレジ
ヤー用燃料に利用されてきた
が、住宅の床下に敷き詰め、
湿度調整やシロアリ対策に利

用する新たな活用がこのほど
始まった。

大島支庁農林課では、サツ
マイモの害虫アリモドキゾウ
ムシ根絶のため、試験的に業
務用ヘリコプターを使った薬
剤散布を新年度から始める。
従来の方法とどちらが効果が
あるかを調査し、効率が良く

ちなみにヘリのお値段は、
一千万円。家が宙に浮いてい
るようなものだ。

上嘉鉄駐在所が完成



上嘉鉄駐在所の新築落成
式が四月二十五日、上嘉鉄
地区振興センターであり、
岩元修一名瀬警察署長や加
藤啓雄町長、集落の関係者
が完成を祝った。

岩元名瀬警察署長は「地
域の中核的な安全センター
としての役割」、加藤町長
は「治安、交通安全維持の
拠点」を期待した。

野間洋平巡査長は(29)
は「安心・安全の拠点、コ
ミュニケーションの場として
気楽に立ち寄ってほしい。明
るい、平和な地域づくりのた
めがんばりたい」と、抱負を
語った。

木炭にはシロアリのエサと
なる微生物の繁殖を抑え、湿
度を抑制する働きがある。こ
れまでも床下に木炭を入れる
例はあつたが、地場産の木炭
の投入は初めて。約三日かけ
て一・五トを投入した。

町産業振興課や大島森林組
合喜界支所では

「地場産活用と環
境対策の面から、
利用促進を図りた
い。調湿効果は半
永久的。ぜひ、利
用を」と話してい
る。



上嘉鉄、荒木の三校区(十集
落・九百九十六
世帯)をカバー
する。

平成17年度施政方針項目別主要施策抜粋

②

畑地かんがい排水事業

平成9年度にスタートし、すでに昨年度末の整備率は45%に推移しております。本年度も引き続きムチャカナ地区を含めた4地区で192畝を整備し、畑かん営農体型の推進を図っております。

林業振興

森林の果たす役割は大きく、水資源のかん養・自然環境の保全・防災林・保安林等の公益的機能を高めるための整備を森林整備計画に基づき長期的に推進いたします。保育・造林事業を昨年度に引き続き百之台地区等を中心に実施してまいります。

水産業振興

恵まれた周辺漁場の有効利用と海洋資源の増殖を図るため漁場の整備開拓等を進め、生産性の高い沿岸漁業の振興を積極的に推進します。種苗放流（シラヒゲウニ）やイカシバの投入を今年も継続して実施いたします。

アンテナショップ事業

本土に在する各郷友会との連携を深めながらアンテナシ

ョップの賛同者を募り、既存ショップ店の運営強化を図り、本町の特産品のPRに努めてまいります。

農産物加工施設

本年度、防衛庁の補助を受けて建設する農産物加工施設は、18年度までの継続事業となりますが、本町に由来からある地場産物に付加価値をつけた商品の研究開発を奨励し、将来、同施設が本町の新たな産業基地として位置づけられるよう整備してまいります。

商工業

昨今の通信体系の高速化や購買者の多種多様化により通信販売やネットショッピングが日常的に見られるようになり、これからの商ビジネスは時代に対応した新しい感覚、新しい経営手法を取り入れた経営努力が肝要であり、商工会と連携を図りながら経営体制の改善強化等、これからの課題克服に最善の努力を傾注する所存でございます。

観光

近年の特色として、スロー

ライフをテーマとした、癒やしや自然体験を目的にした滞在型が主流となっております。文化遺産である「サンゴの石垣」や保護蝶オオゴマダラ、渡り蝶アサギマダラ等、本町の恵まれた自然を生かした観光客誘致施策を構じてまいります。

公園管理

空港臨海公園のガーデンゴルフ、多目的広場、スギラビィチは、平成15年の地方自治法の改正により指定管理者制度を導入し、議会の議決を経まして今年度から新たに指定管理者が管理を行うことになりました。さらに利用者の利便とサービスの充実に努めてまいります。

自然保護

海岸線で自生しているテンノウメやイソマツなどの植物を保護する施策の一環として、広報「きかい」や防災無線による啓発活動を実施するとともに、各種公共事業により除去されるソテツやアダシ、竜舌蘭などを移植しながら、再生・保全・保護に町民

と一体となって取り組みます。

高齢者福祉

少子化、高齢化、核家族化が進展する中、老後の介護の問題が最大の不安要因となっております。

介護保険制度は、介護支援センターの充実、専門職の養成、認定業務、サービス供給体制などを計画的に進めてまいります。

また、平成18年度に見直しが予定されている介護保険制度を、信頼される制度にするためには安定的な運営が大切であり、保険料やサービス水準について町民の皆様と一緒に検討し、次期老人保健福祉計画、介護保険計画を策定いたします。

敬老金、敬老記念品の支給につきまして、昨年同様実施をしたいと考えております。

また、老人無料バスについては、事業が始まった昭和47年当時とは生活環境や高齢化率、対象者数など状況が大きく変わってきており、昨今の

財政事情などを勘案いたしまして名称を敬老バス事業とし、利用者に一部負担をお願いしたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思っております。

さらに、福祉用具、介護用品の支給、介護手当などは国の助成事業を充実して実施し、老人クラブ活動などの支援も引き続き実施してまいります。

また、高齢者の訪問事業として高齢者訪問アドバイザー事業や訪問給食事業も前年同様実施をし、集落、地域の見守り、強化に努めます。

障害者福祉

重度心身障害者医療費助成事業、施設訪問旅費助成事業、心身障害者福祉金の支給ならびに身体障害者補装具、日常生活用具給付事業、心身障害者扶養共済制度事業、また障害者自ら障害者福祉サービスの選択し、指定業者との契約により福祉サービスの提供を受けることを目的とする支援費制度など、ニーズに沿ったきめ細かい取り組みを目指すとともに、身体障害者協会、手をつなぐ育成会、社会福祉法人緑喜会、精神障害者施設ほっと館の運営にも支援を行

い、福祉団体の育成に努めてまいります。

児童福祉

少子化や核家族化、女性の社会進出も進み、多様化する社会情勢の中で、次代を担う子供たちの健やかな成長、環境の充実に努めてまいります。

急速な少子化対策として、次世代育成支援対策推進法が制定されましたが、平成16年度に策定した地域行動計画に基づき基本的な施策を進めてまいります。

平成15年度に設立した子育て支援センターを中心に、地域における子育て支援サービスの充実を図り、従来からの障害児保育、療育活動への取り組みに加えて、近年社会問題となっている児童虐待防止への取り組みを充実させ、子育てに悩む親を孤立させないような地域のネットワーク化を進めてまいります。

また、平成16年度に児童手当の支給対象年齢も引き上げられたことから、児童扶養手当、特別児童扶養手当などと併せて制度の啓発や適正な管理に努め、児童福祉の向上を図っております。

また、行財政改革推進委員

会より提言のありました保育所の民営化については、関係機関との協議を進め、計画どおり実施できるよう議論を重ねてまいります。

医療保険

国民健康保険、老人医療事業につきましても、誰でも安心して良質な医療サービスを受けられる制度の安定的運営とともに、高齢化社会を迎えますます増大してきている医療費の動向にも留意しなければなりません。

特に、老人医療費の負担が大きくなり、国民健康保険の老人医療拠出金の増大や、制度上の問題など国民健康保険、老人保健特別会計の財政運営は厳しさを増してきております。

予防・健康増進

各種検診、ガンドック、人間ドックの助成を行い、早期発見・早期治療による医療費の抑制を図っております。

健康増進対策では、平成18年度改正予定の老人保健法が効果的に実施できるよう関係機関との調整をはかり、健康診査等の保健事業、介護保険法による介護予防事業を実施いたします。

また、奄美群島振興開発事

業で進められている「あまみ長寿・子宝のまちづくり戦略」により、奄美地域の特性を生かした住民参加型の健康づくりをすすめてまいります。

母子保健

安心安全な出産を迎えられるように、妊婦の定期健診のサポートを強化いたします。また、育児支援を考慮に入れた乳幼児健診を実施し、心身ともに健全な子どもの育成と、疾病や障害の早期発見、早期治療に努めます。

診療所

医療技術の確保や施設の整備に努め、診療機能の充実向上を図り、町民が健康で明るい生活が送れるよう努めてまいります。今年度は、エレベーターを設置し、利便性の向上を図ります。

生活環境衛生

クリーンセンターの年間処理量は、平成15年度の実績で、可燃物が2725ト、不燃物が211ト、ペットボトルが15トとなっております。可燃物の月平均焼却量が230ト、一日あたりの焼却量が10トとなっております。

今後は稼働量削減に努めなければ、施設の安定した運営

はより厳しいものとなります。徹底した分別と減量化に取り組むことが重要であり、地域婦人会が取り組んでいる買い物袋持参運動や、生ゴミの資源化推進を啓発し、さらに住民意識の高揚を図りながら、生活環境の事業推進に努めてまいります。

粗大ごみ置き場の利用については、近年搬入量が急激に増えておりますが、その要因は各集落のごみ捨て場が閉鎖されたことによる自然的な増加ではあります。このままですと後4、5年で満杯状態になることが予想されます。施設の延命化を進めるためには、ごみ質の分類を徹底し、再資源化に努め、産業廃棄物系については町内の処理業者への搬出を指導し、適正処理の推進に努めてまいります。

ダイオキシン類の発生源とされる焼却灰についてはこれまで同様県外搬出を実施し、適正処理に努めてまいります。ダイオキシン類の汚染防止に対する地下水質および土壌調査についても随時実施してまいります。

リサイクル

自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関す

る法律）につきましては、平成17年1月1日から本格的にスタートいたしました。

それに伴いまして、既存の各整備工場や解体業者が保有している車両、また、町内の放棄車両、野積車両等は、近日に業者によって全面的に整理されることとなります。

新たな自動車リサイクル法の規定による処分は、すべて島外での処理が必要とされます。また、自動車の最終所有者から預託されたリサイクル料金は、その余剰金の一部が市町村が行う離島対策支援事業に利用できる制度となっております。実施にあたっては、自動車リサイクル法の規定に基づき、国・県や関係団体と連携を図りながら適性な事業運営に努めてまいります。

窓口業務

窓口業務の改善については、これまで住民課と税務課で行っていた各種証明を、本年度から住民課での一本化を実施し、迅速・正確・懇切を基本とし、さらに住民サービスの向上に努めてまいります。

(以下次号)

TOWN
まちの
話 題
News

JAC就航10周年を祝う

今や島の生活路線



喜界 鹿児島路線

日本エアコミューター喜

界・鹿児島就航10周年記念セレモニーが四月一日、喜界空港でありJACや町関係者が就航十年を祝った。

あいさつに立った加藤啓雄町長は「喜界・鹿児島便は町民の生活路線として大きな役割を果たしている。今後は、航空機を利用し、島の多彩な食材を全国にアピールしたい」と、路線の必要性・重要性を強く訴えた。

また、日本エアコミューターの内山茂木取締役総務部長は「JACは現在二十八路線、百二十六便が就航するまでになった。喜界・鹿児島空路は

これまで延べ三十二万三千人が利用。利用率も六六%と安定的な利用率を維持している。島民、自治体のおかげ」と感謝を述べた。

式典ではパイロットや客室乗務員に花束が贈られ、JAC関係者や町三役、町会議員、観光協会役員らが乗客を見送った。また、この日鹿児島に向かう乗客に記念品も贈られた。

五月の観光シーズンを前に四月二十四日、スギラビーチで一足早く海開き（観光協会主催）が行われ、小学生を中心に約三百五十人が集まって初泳ぎを楽しんだ。当日は少し肌寒かったものの、子ども

スギラビーチで
海開き

一足早く夏が来た！



メエ〜ずらしいセリ市

ヤギの需要拡大と地域振興図る

ヤギの飼育が盛んな喜界島で四月二十九日、初めてのセリ市（喜界島ヤギ生産振興会主催）開催。二会長、会員十八人が開かれた。珍しさもあり、会場には購置者とともに多くの見物客が訪れた。

喜界島の郷土料理のひとつに挙げられるヤギ料理の定番は、刺し身、すき焼き、カラジユリ、スープ。製糖終了時や祝いの席でよく食べられるヤギは、滋養強壮や夏場のスタミナ源として喜界島では欠かせない食材だ。世界的に活躍するフランス料理シェフ・吉野健さん（川嶺出身）も、



喜界島産ヤギのカルパッチョを店のメニューに加えている。初セリには三十九頭が出

頭。六頭が五千五百円から三万円の価格で売買された。当

日は群馬県からも買い付けに来たが、予定購入の三十頭を確保できず、輸送費が高くなるため次回、再度来島するという。

振興会によると島内では七百五十頭以上のヤギが飼育されているというが、ほとんどが個人所有のため実数は把握できていない。庭先売買も多く、具体的な販売実績は不明だ。

今後は、会員を増やし、年数回のセリ市開催やインターネットでの販売も計画。振興会の三代康二獣医は「今後はより肉質の良いヤギを育て、島外にもおいしいヤギをアピールし、島の文化を後々まで伝えたい」と、抱負を語った。

たちは元気に海に飛び込み、歓声を上げていた。

子ども会代表も参加して海の安全を祈願した後の xゲームでは、保護者が読み上げるクイズの結果に一喜一憂。最後まで残った二人には、自転車とカラーテレビが贈られた。宝探しは砂浜に隠された番号札を求めて砂と悪戦苦闘。やっと番号札を見つけて「ヤッター、見つけた」と、

大喜びする子どももいた。

ゲームが終わるといよいよ初泳ぎ。子どもたちは砂浜を駆け下り、一斉に海へと飛び込む。「おーっ、寒いー」とあわてて海を飛び出す。だが、次第に水に慣れ、多くが初泳ぎを十分に楽しんだ。海開きには、子ども会の保護者が、ぜんざいや宝探しの景品を配り協力。子どもたちの大好きな夏がいよいよ始まる。

四月の島は花ざかり

可憐な白い花

ヒメタツナミソウ

喜界島固有種のヒメタツナミソウが四月中旬に開花、島中の自生地では、細い茎を上げ上へと伸ばし、シダやヨモギの合間に可憐な白い花をのぞかせている。

花は一センチほどで、足元をじっくり見ないと分からないほど小さいが、茎の先端に競い合うように白い花を三〜七つほどつけている。まるで葉の



中のヒナが口を目いっぱい開け、親鳥の運ぶエサをねだるかのよう。緑一色の辺りに白い花がアクセントを付けている。
ヒメタツナミソウは、高地の湿気のある日陰に自生する。

現在、喜界の自生地は四箇所。花の咲くこの時期が見つけやすく先月、新たに一カ所確認された。環境省が発行するレッドデータブック（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）の絶滅危惧IA（ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）に指定されている。町の天然記念物。

奄美固有の高山の花

オオシマウツギ

四月は野山に若葉が生い茂り、命輝く季節。百之台地の斜面は濃厚な緑に覆われ、サンコウチヨウのさえざりが聞



こえるようになった。一歩一歩、本格的な夏へと近づいている。

この時期に咲くオオシマウツギは奄美固有種で、喜界島、

磯辺や山林に咲く

島ユリ

荒木や志戸桶、上嘉鉄などの海岸線を覆い尽くすように真っ白なテツポウユリが咲い



奄美大島、徳之島にしかないとされる。標高一〇〇以上のサンゴの岩肌へはびりつくように自生する落葉の低木だが、花は密集して咲くので、なかなか見応えがある。木陰を好むようで、大木の下では浮き上がるような白さが際立つ。
海辺の植物に比べ、山の植物に乏しい喜界島では貴重な種だ。

海辺のユリは茎丈が低く、一輪咲きが多い。過酷な環境の中での生きる術なのだろう。対して、モクマオウの下に生えるユリはヒヨロヒヨロと細長い。少しでも日光にあたりたいのだからか。

沖永良部で生産されるエラブユリは本種を改良したもので、原種はほとんどないという。大事に守っていかねければならない島の宝だ。町では自然保護植物に指定し、採取を禁止している。

荒木海岸に咲き競う島ユリ



高岡悦さん(赤連)

第四十五回交通安全全国運動中央大会(財全日本交通安全協会・警察庁共催)本会議が一月十八日、東京都日比谷公会堂であり、高岡悦さん(婦人会)の設立にも尽力した。交通安全週間には必ず街頭に立ち、地域の子どもたちの安全を見守ってきた。現在は喜界地区交通安全協会の副

交通安全 緑十字銀章を受ける

「緑十字銀章」を受章した。高岡さんは昭和五十四年に交通安全協会婦人部を立ち上げその後、交通安全母の会

会長兼事務局長を務める。高岡さんは「命に関わることだから、自分なりに一生懸命やってきた」と、二十六年間を振り返る。平成十二年には、元安全運転管理者協議会会長の夫・清さんも同章を受章。全日本交通安全協会によると、「夫婦揃っての受章は記憶にない」という。安全を見守った子どもたちも大人になり、交通安全運動の一員を務める者もいる。「思いがけず章を頂いたが、町民の安全が第一。命が宝」の言葉がズシ

二子が兄の最期の地

特攻隊員の弟姉一行が来島



さんにはまったく
ない。平成六年、
平成十年と相次い
で他界した父と母
は、これまで兄に
ついてあまり語ら
なかつたため、戦
死の状況や場所は
詳しく分からな
かつた。しかも、沖
縄県糸満市の「平和の礎」
(摩文仁の丘)に名前が刻ま
れており、三人は沖縄で戦死
したものと思っていた。

だが昨年、奄美在住の知人
が喜界町出身の女性と知り合
い、そこから六十年の空白の
歳月がまたたく間に埋まるこ
とになる。女性は「特攻隊員
ならば、喜界島でなにか分か
るか」と、島の友人・宝秀
利さんを紹介した。

戦時中、喜界島には海軍航
空基地飛行場があり、宝さん
の伯父、宮原清三さんは海軍
廠部隊喜界島分遣隊に整備兵
として従事。後に、体験記
『沖縄戦線最期の皆喜界島海
軍基地』をまとめた。その中
に「小柳金一飛長の最後」
(福島県・増戸興助さん投稿

戦後六十年の節目の年を迎
えても、今なお戦争の傷痕を
背負う人たちがいる。東京都
杉並区の小柳恵子さん(66)
と新潟県燕市の小柳健次さん
(64)さんの姉弟、健次さん
の妻・優子さん(55)の三人
が四月十六日、亡き兄・小柳
金一さん(当時十九歳)の最
期の地に降り立った。

文)があった。その文章には、
敵機との交戦や最期の状況が
詳しく書かれていた。

「新潟の実家には焼け焦げ
たお札があった。理由が分か
らなかつたが、墜落したとき
に焼けたことも分かつた」と
恵子さん。当初、乗り継ぎの
便利な東京 奄美経由を利用
する予定だったが、満席で鹿
児島 喜界便に。思いがけず、
兄が飛んだコースを辿ること
になった。しかも、プロペラ
機。恵子さんと優子さんは
「涙が止まらなかつた。兄が
呼んだのかも知れない」。

金一さんは志願兵。反対す
る両親を「国のため」と説得、
戦地に赴いた。

三人は戦闘指揮所や海軍航
空慰霊碑を訪れ、当時を偲
ぶとともに献花し、英霊を慰
めた。優子さんは「この地で
激しい戦争があったとはとて
も思えない。幸せが続くこと
を願っている」と両親の写真
を慰霊碑に立て、手を合わせ
た。健次さんは「体を治して、
また来たい」。恵子さんは
「不思議な縁で兄の最期の地
を踏むことができた」と、感
慨深げだった。

保健師だより

五月晴れの空のもと、庭
先でこのぼりがゆうゆう
と元気いっぱい泳いでいま
す。「喜界の子どもたちよ、
こんなふうのびのびのび大
きなうらやま！」と。

さて、平成十七年四月
一日から、町民の要望な
どを盛り込み、「安心と
ふれあい楽しい子育て
で、未来のある島づくり」
のスローガンを掲げた喜
界町次世代育成支援地域
行動計画ができました。

これは、未来のある
「宝子」と、その養育を
託されているすべての大
人たちを支えるための行
動計画です。

目標は

すべての子どもが、
一人の人間として尊重
され、成長していける
ような環境づくり
子育ての社会的役割が
理解されることで、地
域社会の育児支援体制
が整備され、地域に温
かく支えられながら、

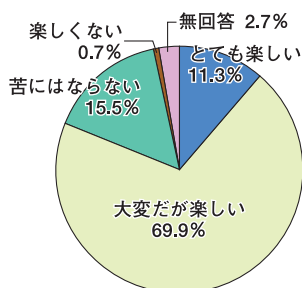
「宝子」育ての行動計画

喜びや楽しみを感じて
子育てができるような
環境づくり
を目指します。

この計画を立てるに先立
ち、乳幼児と学童を持つ五
百三十四人の保護者と、町
内の五百二十三人の中学
生・高校生にニーズ調査・
生活意識調査アンケート
にご協力いただきました。

楽しい子育てを実現す
るために「今できること
は…」と、保健・医療・
福祉・教育の各機関を中
心に対策が立てられてい
ます。
子育ての輪が広がり、
深まるために皆様のご支
援をお願いします。

母親の子育て意識



お知らせ

乳幼児医療費助成

医療費の助成期間

資格発生日（出生日・転入日）から

医科 6歳の誕生日末まで
歯科 4歳の誕生日末まで

医療費助成金の申請

入院・外来両方（保険適用分のみ）

- ・住民税課税世帯
- ・3千円を超えた金額
- ・住民税非課税世帯
- ・医療費全額

医療費助成金の申請期間

助成金の申請は、診療を受けた月の翌月から6カ月以内の申請となります（6カ月を超えると支給できません）。

風しんの予防接種を受けましょう!!

風しんは風しんウイルスによる急性の感染症で、2〜3週間の潜伏期を経て、発熱・リンパ節の腫れ・発疹などの症状が現れます。

特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児に風しんウイルスが感染して出生児に心臓病や白内障、難聴などの障害が発生（先天性風しん症候群）することがあります。

先天性風しん症候群を防止するために、妊娠予定のある女性で、ワクチン未接種かつ風しんの罹患歴のない方は、妊娠前にぜひ、風しんの予防接種を受けましょう。（妊娠中の接種はできません）

また、家族に妊娠中の女性

のいる方で、ワクチン未接種かつ風しんの罹患歴のない方は、予防接種を受けて、妊娠中の女性を風しんウイルスから守りましょう。

接種については、事前に医療機関にお問い合わせください。

問い合わせ先
県庁健康増進課

☎099(286)2724

スポーツ安全保険に加入を

教育委員会生涯学習課では

スポーツ安全保険の加入を受け付けています。

加入人数 5人以上

手続き 加入依頼書は教育委員会と鹿児島銀行に備え付け

てあります。加入依頼書に必要事項を記入後、掛金と一緒に鹿児島銀行窓口へ提出してください。

対象損害 被保険者が日本国内での団体の活動中および往復中に急激で偶然な外来の事故により被った障害。

問い合わせ先
教育委員会生涯学習課

☎0997(65)1111

自動車税は5月31日火までに納めましょう!

平成17年度の自動車税の納期限は5月31日（火）です。

お手元にお届けする納税通知書により、納期限までにお近くの金融機関や郵便局などで納めてくださるようお願いいたします。なお、今年から新しい形の納税通知書でお届けします。また、災害によって自動車に損害を受けた方や、一定の要件に該当する身体障害者または精神障害者のために利用される場合は、自動車税が免除されますので、早めにご相談ください。

問い合わせ先

自動車税管理事務所

☎099(261)5611

大島支庁財務課

☎0997(57)7225

国民年金だより

国民年金第3号被保険者の特例措置

これまで、第3号被保険者の届け出が遅れた場合、2年前まではさかのぼって第3号被保険者の期間となり、それ以前の期間は「保険料を未納にしているのと同じ取り扱い（3号未納）」となっていました。平成17年4月の法律改正により、昭和61年4月1日以降の期間について、2年以上前の期間も第3号期間の保険料納付の期間としてさかのぼることができるようになりました。

平成17年3月までに届け出が遅れ3号未納の記録がある方は、再度特例の届けを出す必要はありません（社会保険庁で自動的に3号期間への変更処理を行います）。該当する方には、4月下旬にお知らせをお送りしています。

また、年金受給者の方は、年金額が増額になる場合があります。該当する受給者の方には、年金額が改定される旨のお知らせを6月下旬頃にお送りします。

平成17年4月以降に第3号被保険者の届け出をされる際、2年以上さかのぼる期間がある場合は、特例届を併せて提出してください。

年度の途中からでも前納制度が利用できます

「口座振替での前納」は1年分と半年分の2種類に限られますが、「納付書による現金での前納」は、どの月からでも利用できます。例えば、

平成17年6月分から平成18年3月分までを

- ・毎月納付すると、13,580円×10カ月＝135,800円 ですが、
- ・前納すると、133,820円（1,980円割引） となります。

6月分から前納される時は、納付期限は6月末となりますのでご注意ください。

鹿児島社会保険事務局年金課 ☎099(812)0151

環境学習アドバイザー 派遣制度

県では、県民の方々の環境保全意識の高揚と自主的な環境保全活動を支援するため、地域の団体などが主催する環境についての学習会（参加者20名以上）や自然観察会（参加者10名以上）に、県が委嘱

した環境についての有識者であるアドバイザーを講師として派遣しています。

対象となる学習会の主催者は、県内の公民館、自治会、PTA、子ども会、地域クラブなどの各種団体や市町村など
派遣時間は、1学習会につき、原則として4時間以内

海の贈り物

ヤクシマダカラガイ



リーフ上またはリーフ外の水深3mほどの岩礁にすむ。背面には虫食い模様が縦に多数あり、また1本の無斑の帯が前端から後端へ走っている。周縁には黒色斑が多数ならぶ。喜界島ではよく見られる貝殻のひとつ。
タカラガイ科（採取地＝池治浜）

あなたも奄美群島の 案内人

平成17年度 奄美ミュージアム人材育成事業（奄美自然・文化インストラクター養成塾）受講者を募集します。

目的および方法
奄美ミュージアム人材育成

案内人

アドバイザー派遣を希望される方は、開催予定日の1カ月前までに県にお申し込みください。
アドバイザーへの謝金・旅費は、県が負担いたします。
問い合わせ先
県庁環境政策課
☎099(286)2586

喜界「嶺美会」(吉嶺美智子主宰) 押し絵展

喜界町の押し絵愛好家グループ「嶺美会」の展示会が、かごしま県民大学中央センターで開催されます。

講座内容 奄美の自然、歴史・文化、産業等に詳しい講師を派遣し、講義を受けたり、体験学習をしたり、また今年度はテーマを決めて勉強しあいます。
問い合わせ先
役場企画課
☎0997(65)1111

「老人無料バス乗車券」は廃止 「敬老パス乗車券」に移行

現在、73歳以上の方に交付している老人無料バス乗車券は、6月末日をもって廃止となり、使用できなくなります。

これに伴い、7月1日から新たに利用者の皆様にご負担をいただく「敬老パス乗車券」(年額1,200円。途中申請の場合は月割)に切り替わります。



申請は、役場保福祉課で受け付けています。利用者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先

役場保健福祉課高齢者福祉係

☎0997(65)1111(内線32)

とき 平成17年6月9日(木) ~ 平成17年6月30日(木)
場所 かごしま県民大学中央センター(旧県庁跡地)生涯学習情報提供交流サロン展示スペース
問い合わせ先
鹿児島市山下町14 50
☎099(221)6604
喜界町教育委員会生涯学習課
☎0997(65)1111

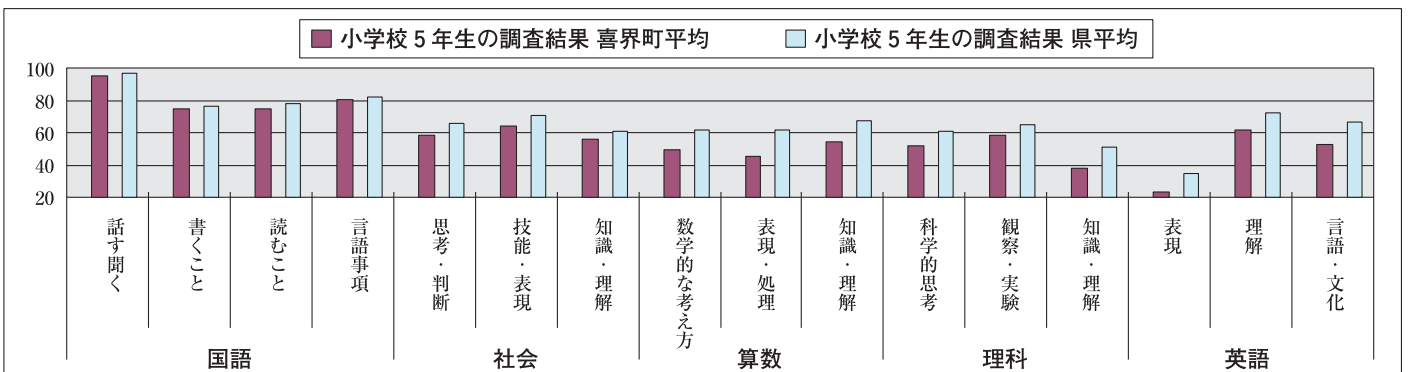
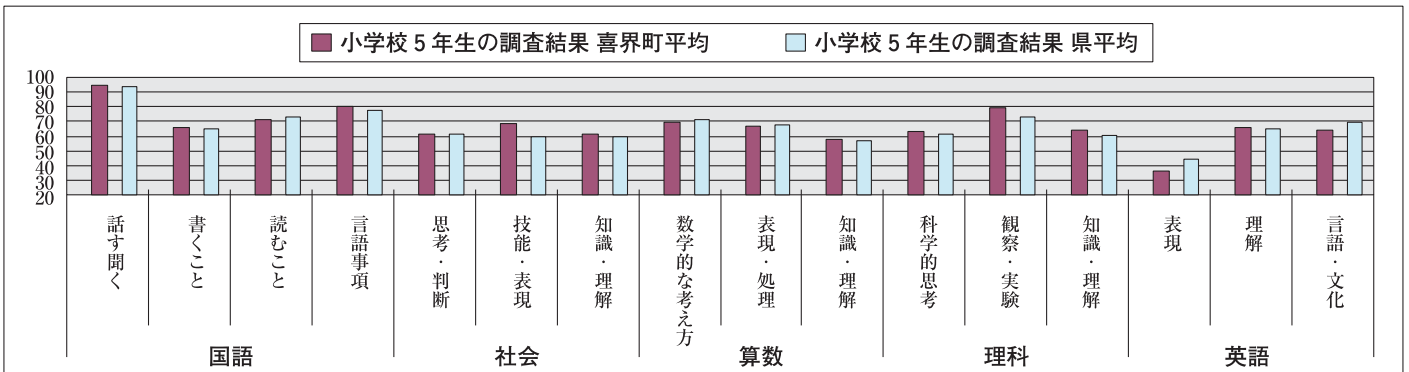
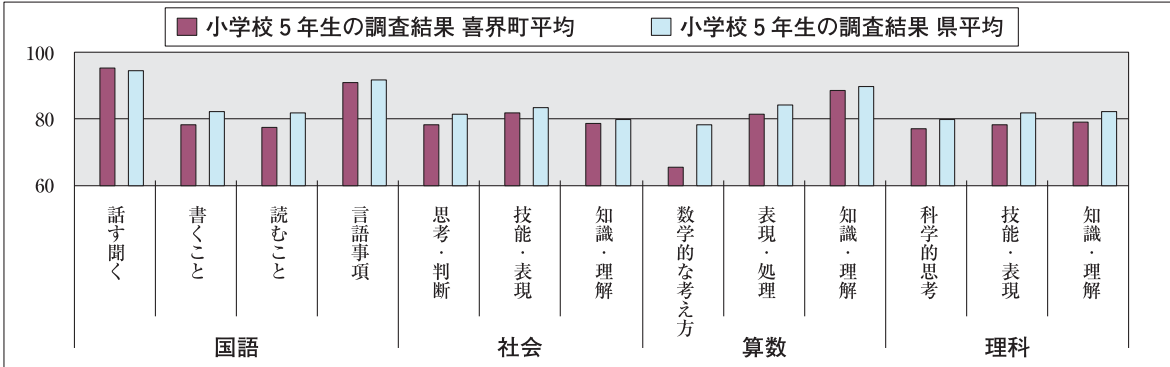
教育委員会のとびら

平成16年度 基礎・基本」定着調査の結果

平成十七年一月、県内の全ての小学五年生・中学一年生・中学二年生を対象に、学習したことがどれだけ身に付いているかを調べる「基礎・基本」定着度調査が行われました。
下のグラフは、観点ごとの正答率平均を、本町の児童生徒と県全体で比べたものです。

教科ごとの正答率 (県と町の平均の比較)

	国語	社会	算数	数学	理科	英語
小5 県	86.5	77.5	81.5	76.9		
小5 町	84.6	75.2	78.2	73.1		
中1 県	75.6	59.3	64.8	63.9	58.8	
中1 町	77.6	62.1	64.2	67.2	55.7	
中2 県	81.7	63.3	62.9	56.9	59.5	
中2 町	79.5	58.3	48.3	47.0	47.9	



正答率の結果は以上のようですが、昨年度の各学校の学力向上の取り組みと本調査結果から、次のような成果と課題が得られました。

【成果】

各学校の授業改善が子どもたちの学習意欲を高め、学力向上につながりつつある。

各学校が作成した「家庭学習のしおり」により、家庭での学習時間が増加し、基礎・基本定着につながりつつある。

【課題】

学年が進むにつれ、県平均との学力差が大きくなっている。中学生は家庭学習の時間を確保してほしい。

学力は、変化の激しいこれからの社会を生きていく上で、また今後のよりよい生き方を実現していく上で、ますます必要となってきます。本調査は、今後も毎年実施します。これからの子どもたちのがんばりに期待しましょう。

わが家のアイドル



かじさ 加治佐 颯太くん(3歳1カ月)
あとおと 碧乙くん(1歳8カ月)

喜界町のみなさん、こんにちは！僕達の一番のお気に入りには近くの海で遊ぶこと。プールごっこや貝がら集め、やどかりレース、魚やカニを眺めたり...、本当に楽しいよ！！これからはお友達ともたくさん遊びたいな。みなさん、どうぞ仲良くしてくださいね。

(颯・碧)

父 = 秀樹
母 = 桂子
小野津

参考になればと新聞切り抜きを姪の応援に短歌続け居り
向井 トキ
亡き父が愛でしアカシア降る雨に白き花房清くたれたり
北島 シナ
降り続く雨のひとは訪ね来る人もなく窓に木の揺れ眺む
有村 道子

満開の匂いも馥郁しみかん木に目白わたりて花の散りしく
竹田ヨシ子
木の芽雨あがりし庭の昼下り羽化せし蝶の翔び立ちゆけり
平尾 チヨ
つい先程思いし用事忘れたる我が老いの道泣き笑いで過ぐ
屋良ミノ子
神が今我に与えしこの時間身の不自由なるも感謝する日々
美代 イシ



去にし日の旅の想い出白秋の若き日の詩魂儂ぶよすがに
郡 市子
侘びし庭も卯月なればとどりの花燃え盛り我元気づく
弥島 幸子
次つぎに羽をたたみて電線に並ぶカラスは楽譜えがけり
林 蓮香
春あらし去りにし夕べの雲晴れて久にし仰ぐ新月の冴え
嶺倉 祝子
朝毎に風向きをみるならいな
り都より帰り島住み十年
武田 幸子

富田 悟正
竹下 慎之祐
牧 繁樹
佐藤 健一郎
松本 達夫
住友 瑠唯
住友 英徳
住友 巧
伊実久
伊砂 武田小夜子
前金久 秋月ヒサエ
伊丹市 川田 トメ
神宮 守内ミツノ
手久津久 岡本 秀雄
志戸桶 坂元 篤
湾 新野 絹枝
中 熊 叶 安彦
坂 嶺 永野 保
名瀬市 体岡嘉一郎
阿 伝 保科 一男
湾 喜禎 和子
白水 徳永 隆一

いつまでも
お幸せに
社協だより
香典返し



こんにちは
赤ちゃん

氏名 保護者 住所
伊東 羽月 龍太 赤連

四月号の「喜界歌壇」中ぐずる手を引きひき吾子は今吾の旅行鞆を軽々と持つとある歌は
ぐずる手を引きひき歩みし吾子は今吾の旅行鞆を軽々と持つ の誤まりでした。お詫びして訂正いたします。

小野津 保崎 至
佐手久 坂元 明
小野津 秋月 尚治
荒木 朝日 榮
手久津久 岡本 秀一
中里 前田 輝也
城久 宮 ヨシエ
赤連 叶 乙ま
志戸桶 新納 眞一
荒木 体岡 初枝
志戸桶 久保 テル
伊実久 大山 卯之輔
74才 77才 87才 85才 68才 93才 78才 40才 48才 77才 73才 94才 58才

.....喜界町の推計人口.....

(平成17年4月30日現在)
世帯数..... 3,825戸 (+57)
人口..... 8,590人 (+77)
男..... 3,979人 (+46)
女..... 4,611人 (+31)
()は前月比



麦の収穫



オオキンケイギク



テリハノイバラ



グラジオラス

アサギマダラ



生命輝く
花も虫も



テングチョウ



ヒシバデイゴ

オオゴマダラと
アザミ



ノアサガオ



ハイビスカス

アマリリスとヒルザ
キツキミノソウ



桑の実



オオゴマダラ



ナナホシキンカメ
ムシ

ハイビスカスと小野津集落



ナワシロイチゴ



リュウキュウ
アサギマダラ
とランタナ



ゴモジュ

テンノウメ

